

2025年度 メリー★ポピンズ和光ルーム 事業計画書

Ⅰ.基本方針

法人の基本方針に基づき

「にんげん力、育てます」

その為に必要な経験、学び、活動を提案し実現を目指す。子どもを真ん中に保育者、地域の方と関わり、関係を築きながら「共に育つ」コミュニティづくりを進めていく。

【どろんこ会の日課】

・基本活動である畑仕事、雑巾がけ、座禅、生き物の世話、さくらさくらんぼリズム、9時出発、商店街ツアー、青空保育など大切にしている理由をより深く理解し、スタッフが共に行う中で子どもたちの活動、一日をより深いものにしていくこととする。

【丁寧な保育】

- ・子どもの発達を理解し、個々を知り必要に応じた丁寧な保育を実践する。
- ・一人ひとりの思いを探り、受け止めていきながら子どもが経験を重ねることを見守る。
- ・保育者本位の補助や先走る言葉はらず、子どもの育ちを信じる。

【人とつながる】

心動く経験を重ねる。その中で感じた思いや伝えたい気持ちをしっかり受け止めてもらうことを喜びとを感じる。その幸福感を子どもが重ねていくことで人と関わる力を育む。

【共に育つ】

- ・地域交流の場を設け、地域に向けた情報を発信し、利用しやすい環境にしていく。
- ・保育者も共に学び続け発信することで子どもたち、保護者、地域の方と共に育つ。

〈Ⅰ〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子どもの姿、発達の見通しをとらえた保育計画
	実践予定内容	年齢、年齢にとらわれすぎず、一人ひとりの発達を確認しながら、今必要な経験、課題を見据えた計画を立てる。 子どもの育ちを理解し、今を見極めながら必要以上に手や声をかけすぎずに丁寧に育ちを見守る。
2	計画・ねらい	日々の体験を大切にし、心身ともに充実した一日を過ごす
	実践予定内容	心動く経験を重ねる。その中で五感を研ぎ澄まし、感じた思いや伝えたい気持ちをしっかり発信する、その思いを受け止めてもらう、共感することを喜びとを感じる。
3	計画・ねらい	インクルーシブ保育の中で必要に応じた丁寧な保育を行う
	実践予定内容	個々の発達、成長に合わせた丁寧な保育行う中で互いに育ちあい、切磋琢磨していく関係性、多様性を受け入れていく。

〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	心のこもった保護者対応
	実践予定内容	・小規模認可保育園ならではの、一人ひとりに寄り添った、丁寧な関わりを持ちながら日々顔を合わせる保育者として、保護者との信頼関係を築き、子どもたちの成長を共に喜び、共に悩みながらサポートしていく。
2	計画・ねらい	子どもたちの成長の共有を図る
	実践予定内容	・日頃の取り組みから見られる成長をドキュメンテーションなどにして共有していく。 ・子どもたちの成長、発達、心の変化など、保護者と共有しながら、共に悩み、喜び成長していく関係性を作る。

〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	居心地の良い空間づくり
	実践予定内容	地域の子育ての場の一つとなるように明るく、衛生的な空間を保つ。専門知識を持った保育者や子育て経験のある保育者等が対応していくことで安心して話ができる場となるように努める。
2	計画・ねらい	地域とつながる
	実践予定内容	芸術学校、自然食堂、寺親屋を開催し、地域の方が、気軽に保育園に足を運んでもらうことのできる場を作り、Webやチラシ等で周知する。その中で、地域の方の声を聞き、仲間探し、子育ての悩み、遊びの場となるように努める。 地域に向けた新聞を作成し子育てのヒントや行事の習わしなど地域の方に向けて情報の発信をすることをきっかけに開かれた保育園となる。
3	計画・ねらい	園開放を行うことで地域の憩いの場となる
	実践予定内容	・安全を確保しながら気軽に来園できる場になるようにする。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	子どもの発達から活動計画や環境を整える力をつける
	実践予定内容	子どもたちにとって望ましい環境を発達、子どもの興味関心から捉え、室内環境や園外保育での計画に反映させ、実践し続けていく。
2	計画・ねらい	自ら学び、発信できる職員集団となる
	実践予定内容	保育の中で常に疑問に思ったこと、曖昧な知識をそのままにせず、園長大学の視聴や先輩スタッフに共有しながら常にステップアップしていく。
3	計画・ねらい	子どもに尊厳をもって接する
	実践予定内容	子どもの権利条約等の基本を再認識する。そこから日常の保育での関わりや保育者である前に大人としての振る舞いを見直し、尊厳を持つという意味を理解し実行する。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	環境を知る
	実践予定内容	まずはスタッフが環境、自然、循環についてさらに深い学びを行う。そこから子どもたちに伝えるべきこと、一緒にできることを探し、実践していく。
2	計画・ねらい	畑活動を五感で体験する
	実践予定内容	野菜を作るとはもちろん、土づくり、泥遊びを通して免疫を獲得し、健康で安全に過ごすための体の使い方を覚えていく。
3	計画・ねらい	食の循環、食材に触れ興味をもつ
	実践予定内容	日々食べる野菜、食材に触れ、興味をもち、下処理等を通して食に興味を持つ。 野菜の廃棄部分で水彩栽培や再生栽培を行う。

〈6〉本物に触れる

1	計画・ねらい	音、音楽に触れる
	実践予定内容	日常の生活の中で、保育者の口ずさむ歌、わらべ歌、手遊び歌、童謡など色々な音楽に触れることの心地よさを知る。 手をたたく、棚をたたく、壁をたたく、調理室からの音、色々な音を五感で感じる。
2	計画・ねらい	食に触れる
	実践予定内容	畑での活動、食育活動を大切にする。土のぬくもり、心地よさ、生きている野菜、切り身ではない魚など食育活動等で触れる。
3	計画・ねらい	日本古来の伝統行事を知る
	実践予定内容	季節を感じ、それぞれの行事の習わしを伝え、経験となるようにする。(豆まき、ひな人形、お花見、祭り、もちつき見学と杵や臼に触れるなど)

2.施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	6人	7人	0人	0人	0人	19人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	5人	看護師	1人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	2人	補助	2人	調理	0人	事務	0人

3.運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	園内研修 研修報告からの学び 保育の課題の話し合い
給食運営会議	月1回	食育、離乳食、アレルギー食、喫食状況の共有、課題提案
事故防止委員会	月1回	インシデント、ヒヤリハットの分析 自園含む全園でのケーススタディと改善策
ケース会議	月1回	必要に応じて
食育会議	月1回	食に関する活動の共有、アレルギー対応
保健会議	月1回	感染症、マニュアル確認、感染予防、衛生知識

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	業務報告、伝達事項、共有事項
施設長勉強会	月1回	マニュアルの見直し、各園の課題、アクションプランの立案、振り返り
食育会議	年4回	マニュアル検討、食育活動の共有
保健会議	年4回	マニュアル検討 衛生管理、感染予防対策

子育ての質を上げる会議	月1回	保育の課題の学び、保育のスキルアップ
-------------	-----	--------------------

〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の汚染区域の衛生管理 備品管理
安全対策係	環境玩具の点検 環境安全整備
防火管理者	避難訓練の立案、見直し 設備の防火管理
食品衛生責任者	食品管理 食育計画の立案 調理室の衛生管理
畑係	畑の情報収集と発信 年間食育計画実行のための発信
生き物係	動植物の管理の発信 それにおける備品等管理

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	開催に向けて保護者とともに計画し実行する
地域交流係	地域支援、交流活動の準備、発信

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none">・個々の生活リズム、家庭環境、個性をできる限り把握したうえで園児、保護者が安心して登園できるようにする。・情緒の安定を図り、安心できる日常の中で「よく食べ、よく遊び、よく寝る」生活リズムができるようにする。
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none">・戸外遊び、巧緻性を伴う活動、感触遊び、日常生活を通して五感を使い感覚の働きを豊かにする。・身の回りのことに興味をもち、自分でやってみようとする。
幼児保育	下半期 2歳児	<ul style="list-style-type: none">・様々な「成功」も「困った」経験も重ねていきながら、自ら自分の気持ちを発信したり、友だちの気持ちを感じたり助け合う関係、コミュニケーション力につながる経験を重ねる・連携先でスムーズに生活ができるよう年明けを目安に交流を増やし共に活動する機会を持つ

保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・ 随時、希望する保護者に対し実施 ・ 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・ 連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・ 2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・ 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	調理員、保育者、施設長は子どもと一緒に食べる
	実践予定内容	同じ時間にテーブルを囲み、食すことで五感を使い、同じメニューを食すことで味を言葉で表現しあうなど、楽しい食事の時間を過ごす。そのことで子どもたちの「食事が楽しい」経験を重ねる
2	計画・ねらい	食に興味をもつ
	実践予定内容	畑仕事や食育活動、日々の昼食の食材の下処理など日々の中で食に興味関心を持つことができるよう取り組む
3	計画・ねらい	子どもたちが自ら選び食す
	実践予定内容	0.1歳児での手づかみ食べや、1.2歳児は盛り付けに挑戦したり、盛り付けの量の違いに気づき、自ら選ぶ

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	うがい、手洗いの習慣化 歯磨き習慣が身につく取り組み
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施

発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・2名より預かり済み／冷蔵庫にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在12名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員1名については4月末日までに受講予定
AED使用できるスタッフ (AED設置施設のみ)	AED設置なし
その他保健に関する取組	月1回の身体測定 日々の園児の健康状態の確認(視診、触診、家庭との情報共有) 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また室温、湿度を保ち消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
衛生管理	衛生管理点検表／毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
健康管理	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月

	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
運営管理	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	温かなぬくもり、親しみとくつろぎの場をつくっていく
	実践予定内容	整理整頓、行き届いた清掃状況の恒常化、心地よく過ごすことのできる環境にする。
2	計画・ねらい	子どもが自ら関わり自発的に活動する
	実践予定内容	発達や、心理、心境に合わせて安心できる、自ら関わりたくなる環境構成を行う。
3	計画・ねらい	遊びこむことのできる環境を創る
	実践予定内容	子どもの発達を理解し、子どもが興味関心を持ち、自ら入りたくなるような保育環境を用意する。発達、興味に見合った手作り玩具を含めた設定を必要な時期に行う。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具なし

5.危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	・消防計画に則った自衛消防組織を基に避難訓練（毎月1回）・防災自主点検（年2回）・日常点検の実施 ・災害発生時には、法人の災害時フローチャートに従う
2	実践予定内容	・事故防止チェック（年4回）・設備点検チェック（年6回）の実施 ・事故防止委員会会議の実施 ・怪我発生時には法人の怪我発生時フローチャートに従う
3	実践予定内容	・不審者侵入訓練（年2回）の実施 ・職員全員笛の携帯 ・自治体や近隣園との不審者情報の共有 ・不審者侵入時には法人の不審者侵入対応フローチャートに従う
4	実践予定内容	光化学スモッグの知識を身につけ、「光化学スモッグ注意報発令配信メール」に登録し、発生時には行政指示に従って対応する
5	実践予定内容	ハザードマップの随時見直し、怪我発生時の対応フローチャート設置、ヒヤリハット報告書、インシデント報告書、事故記録簿作成是正振り返り共有する

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

地域におけるボランティアの養成、次の世代を担う保育等の現場で活躍する人材育成のため、積極的に受け入れる。子どもたち、保育者にとっての人とのふれあい、共に学びあう場として次世代交流として行う。

1	実践予定内容	中学生の体験学習の受け入れ
2	実践予定内容	保育の実習生、中学生以上のボランティアの受け入れ

7. スタッフ育成と研修計画

子どもたちに寄り添う、丁寧な保育の実践につなげるために、昼礼等を通し日々の振り返り、子どもの姿を語り、その時の保育者一人ひとりの「必要に応じた丁寧な保育」の実践内容について語り合う。共有だけではなく「交わる」ことのできる職員集団となる。

施設長としてスタッフと向き合いながら、それぞれの経験やスキルに応じた課題を明確にし、実行振り返り、フィードバックをしながら職員一人ひとりのスキルアップ、そして園全体の保育の質の向上につなげていく。

〈1〉2025年度 園内研修計画

（毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施）

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月11日	18:30～20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 人権チェック、虐待防止研修 ③ 怪我、ケーススタディ	・子どもの人権、関わりについて考える ・ハザードマップを確認しながら怪我や事故のリスクを予測、万が一起きた時の対応を学ぶ 園長大学「怪我や事故を防止するために」から学ぶ
5月9日	18:30～20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 命を守るために	・SIDSについての認識を正しく持つ 園長大学「SIDS家族の会から学ぶ命の重さ」からの気づき ・人数確認、ヒヤリハットから
6月13日	18:30～20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 水遊び危機管理研修	・水遊びのリスクマネジメント
7月11日	18:30～20:30	① コンピテンシー自己採点	・育ちを伝えるための方法を見

		② 保護者対応	直す
8月8日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② よりそう保育とは	・園長大学「信じて待つ保育」から学ぶ
9月12日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 上期振り返り	・上半期の活動を振り返り、下半期の計画を練る
10月10日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 人権チェック、虐待防止研修	園長大学「不適切な保育」から学ぶ
11月14日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ① 保育環境について	園長大学「心を育てる保育環境」から学ぶ
12月12日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② どんぐり会全体研修	園長大学全体研修
1月16日	18:30~20:30	① コンピテンシー自己採点 ② 年間の学びの発信	・今年度の活動を振り返り、来年度に生かしていく ・年間を通しての学びからアウトプットしあう
2月20日	18:00~21:00	② コンピテンシー自己採点 ② 策定会議1	・次年度の園目標を決める
3月1日	9:00~18:00	② コンピテンシー自己採点 ② 策定会議2	・次年度年間計画の作成、畑の畝づくりを行う

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

[illegible]

リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定
デモンstrationインターンシップ	希望するスタッフが応募

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

誰もが気軽に立ち寄ることのできるルームになる。通りすがりでも、継続してくることも、飛び込みで立ち寄ることのできる「開かれた園」になるように努めていく。

「」「交わる」共に育つことを目標に、遊び、発達、保育を届けていきながら、地域の方と交わりつながっていく。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細
どろんこ祭り	年1回 集客目標：50名
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：チビッコ公園にて 集客目標：3名
商店街ツアー	週1回
世代間交流	施設訪問「まちかど生き生きプラザ」、地域施設との交流
異年齢交流	和光どろんこ保育園、他地域保育園との交流 中高生の職業体験の受け入れ
地域拠点活動	自然食堂 芸術学校 自然学校 寺親屋 園開放

9. 小学校との連携の計画

該当なし

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

状況に応じて行う。関係機関、本部と連携を取りながら支援をしていく。

〈2〉毎月のケース会議開催

（4～3月に計12回開催予定 参加者：2～4名予定）

必要に応じて行う。年齢担当職員を中心に、施設長、職員で話し合い、職員全体へ共有していく。

〈3〉進級引継、および、小学校への引継

連携園（和光どろんこ保育園）の幼児クラスへの引継ぎや転園児がいる場合は和光市が行っている転園引継ぎ式に出席し、保育の連続性・継続性を重視した引継ぎの体制を整える。

11. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	（月）～（土）9:30～16:30 集客目標：3名
子育て相談	（月）～（土）13:00～16:30 集客目標：2名
自然食堂…親子ランチ交流	第2.4週（火）10:00～12:00 集客目標：3名
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	第3週（火）10:00～12:00 集客目標：2名
勝手籠設置	（月）～（土）7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育（支援センター主催）	月1回 公園名：チビッコ公園にて開催 集客目標：3名

12. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

3年に1回実施

〈2〉園による自己評価の実施

2026年1月16日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：8時30分
自己評価終了予定時刻：20時00分
自己評価実施予定者：施設長、職員

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。
アンケート配布予定日：8月25日

Ⅰ 3.3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	・子どもに寄り添う ・経験を重ねる ・発信できる職員集団の土台作り
	振り返り	・小規模だからこそできる関わり、保育を考えながら、丁寧な保育、保護者との関わりに努めた。子どもの育ちに寄り添いながらその思いに立ち止まり、共に悩み、成長に喜び安心できる関係性を築いてきた。 ・時代とともに変化する事象、心の動き、導くのではなく共に悩み、困った経験も重ねていくことでそれを乗り越える心の在り方について考えながら経験を重ねることができるよう努めた ・職員それぞれの得意を生かした研修、学びを深め、今後、地域に向けて発信できる力を養う経験を重ねてきた

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	・地域の子育ての場となるために「交わる」
	重点施策	・地域の方とともに「子育ての場」となるよう、世代を超えてつながり、地域で子育てを支えあう関係性の土台を作る。
2026年度	目指す姿	・地域の子育ての場になる
	重点施策	・子育ての場として子育て世代、異世代すべての地域の方と共に、「遊びの会」「学びの会」など地域のニーズに合わせた展開ができるように、人とのつながりをさらに深めていく
2027年度	目指す姿	・地域の子育て「人とのつながり」を広げる
	重点施策	・地域の個々のつながりの発信地となる。子育て世代、それを応援したい人、「つながる」ことでより住みやすい地域になるように努めていく

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ和光ルーム 施設長 高安 百合子